

会 議 録

□全部記録 ■要点記録

1 会議名	令和4年度 第1回 姫路市総合教育会議
2 開催日時	令和4年8月10日(水) 13時30分～14時35分
3 開催場所	姫路市役所北別館 5階 教育委員会会議室
4 出席者又は欠席者名	<p>[構成員]</p> <p>清元市長、西田教育長、森下教育長職務代理者、山下教育委員、角谷教育委員、 中野教育委員</p> <p>[関係者]</p> <p>横田政策局高等教育・地方創生担当理事、峯野教育次長</p> <p>[事務局]</p> <p>高等教育室 : 高橋室長、篠原係長、下川主任</p> <p>教育委員会事務局 : 平田教育総務部長、竹田教育企画室長、中上総務課長、島田総務課係長、 岡本教育企画室指導主事</p>
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴人 2名
6 議題又は案件及び結論等	夜間中学(姫路市立あかつき中学校)の設置について
7 会議の全部内容又は進行記録	詳細については別紙参照

委員	<p>不登校など、学校にうまく適合できず十分な教育を受けられなかった人には、さまざまなサポート団体を通して個別に周知されると聞いている。しかし、現在就労しているが、もう一度学びたいという人への周知については、商工会議所や経営者協会等を通して企業へ働きかけ、従業員の中に対象者がいないか探してもらう等、企業と連携して周知を図ってはどうか。</p> <p>また、就労している場合、場所にもよるが、17時30分の授業開始だと毎日参加できる人が限られると思う。一般的な勤務時間の人であれば、毎日早退しなければならない。就労者は2時限目からの受講でもよいとするなど、就労している人に合わせたプログラムを用意できないか。柔軟なプログラム作りが参加対象を広げることになると思う。</p>
事務局	<p>企業への周知については対応したい。授業のプログラムについては、入学面談で個別の状況を聞き取り、柔軟な対応ができないか検討する。</p>
委員	<p>相談により個別の状況に対応できるということを、周知の段階で示した方がよい。入学を検討する人が増えると思う。</p>
市長	<p>姫路市立夜間中学設置基本計画の10ページに、「ICTを活用した教育の推進」とあるが、ストリーミング配信を取り入れることで、試験前の復習に活用したり、1限目受講が困難な生徒が週末にまとめて受講したりできないか。同じ授業でも何度も繰り返し見れば、理解が深まる。視聴環境が整わない生徒には、図書室で視聴できる環境を用意するとよいのではないか。</p>
事務局	<p>復習への活用など有効であると考えられる。義務教育のため、出席日数の関係等、可能であるか検討したい。</p>
委員	<p>履修科目を選択することは可能なのか。特定の科目だけ履修したいという人は夜間中学の対象ではないということか。</p>
事務局	<p>文部科学省の中学校学習指導要領に従ったカリキュラム設定である。ただ、国語などはレベルが異なる可能性が高いので、細かくクラスを分けることは考えられる。</p>
市長	<p>履修科目を選択して学びたい方には、生涯学習大学校や好古学園大学校がある。国語と体育は、国籍や年齢、体力などにより個人差が大きいため、到達点の設定をそれぞれに合ったものにしていく必要がある。</p>
委員	<p>小学校を改修して使用するとのことであるが、大人の方には、大人用のサイズの机・椅子が用意されるのか。音楽や家庭科の授業では、小学生用のものを兼用するのか。また、教科書等は無償配布されると思うが、音楽や美術で使用する用具については、自費購入していただくのか。</p>
事務局	<p>そのまま使用できるものは使用するが、臨機応変に対応したい。また、用具については自費購入していただくが、場合によっては、就学支援を考えていく必要がある。</p>
委員	<p>夜間中学の広報ちらしをスーパーで見かけたが、すごく目に付いてよかったと思</p>

事務局	<p>う。8月26日に体験会が予定されているが、申し込み状況はどうか。</p> <p>現在、10人位の申し込みがある。あまり学校に通えていない来年3月卒業見込みの生徒の保護者からの問い合わせもある。</p>
市長	<p>「夜間中学を知るシンポジウム」で上映予定のドキュメンタリー「こんばんはⅡ」を視聴した。インタビューで構成されており非常に面白かった。今回のシンポジウムだけでなく、さまざまところで上映会をしたらどうか。また、夜間中学が開校するというちらしを、市内の小・中学校で全生徒に配布してはどうか。整備する以上は周知に努め、ニーズをきちんと掘り起こすことが大切である。</p>
委員	<p>企業に周知の協力依頼をすることは、よい考えである。夜間中学への通学を積極的に応援する企業を支援できる仕組みがあればよい。また、入学希望者には、学ぶだけでなく、味わえなかった学生生活を取り戻したいという思いもあるのではないか。高齢者から若者まで、世代を超えて一緒に体験できるものをカリキュラムに入れることが、一つの魅力になるのではないかと思う。地域や企業との交流、お祭りなども取り入れ、少し違う魅力を出していくのはどうか。</p>
市長	<p>SDGsの目標の一つに、「質の高い教育をみんなに」とある。夜間中学への取り組みがSDGsのどの目標に該当するのかちらし等にも印刷し、明確に示すとよい。また、社員を夜間中学へ送り出している企業には、姫路市SDGs宣言制度を活用してPRしていただくのはどうか。</p>
教育長	<p>夜間中学へ入学を希望される皆さんは、義務教育を受けられなかった高齢者や学校に十分通わないまま卒業した方などさまざまであり、学校に期待するものはそれぞれ異なる。これから実施する説明会の中で、入学希望者のニーズを的確に捉えていきたい。</p> <p>また、教員には、開校までに夜間中学の状況をよく知ってもらう機会を設け、4月の開校につなげていきたいと考えている。</p>